

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 第3次産業活動指数(2007年3月)

発表日2007年5月18日(金)

～テクニカル要因もあってやや大きめの落ち込み～

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 副主任エコノミスト 長谷山 則昭

TEL : 03-5221-4525

(単位:%)

		第3次産業活動指数		電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療、福祉	サービス業
		前期比	前年比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比
05	1-3月	1.2	2.1	3.7	▲1.6	0.4	1.5	1.6	▲0.2	2.1	0.7	2.1
	4-6月	0.2	1.9	▲0.9	0.9	1.2	▲0.2	▲0.5	0.9	▲0.1	▲0.1	0.3
	7-9月	0.4	2.2	0.0	▲0.7	▲0.1	▲0.2	3.0	0.7	0.0	0.0	0.6
	10-12月	1.1	2.6	3.6	2.1	▲0.5	1.1	4.4	1.1	0.9	0.6	▲0.2
06	1-3月	0.2	2.1	▲1.0	▲1.0	0.7	0.3	▲0.3	▲0.6	0.9	0.7	0.7
	4-6月	0.6	2.7	▲0.5	2.0	0.3	1.0	▲1.1	0.5	0.6	▲0.5	0.8
	7-9月	▲0.4	1.5	0.2	▲1.9	0.5	▲0.6	▲2.0	0.5	0.6	0.5	0.5
	10-12月	0.9	1.6	2.3	3.1	0.1	1.1	0.4	0.0	▲0.3	1.0	▲0.1
07	1-3月	0.1	1.1	▲1.0	▲1.8	▲0.7	0.2	1.9	0.1	2.2	0.2	1.7
06	1月	0.7	2.4	▲3.5	2.4	0.3	0.7	0.2	▲0.5	▲0.6	▲0.2	1.5
	2月	▲0.6	2.6	▲0.6	▲1.7	▲0.3	▲0.7	▲1.5	▲0.6	0.5	▲0.6	0.5
	3月	▲0.8	1.4	▲1.0	▲2.5	1.1	▲1.5	▲1.7	▲0.1	0.6	0.6	▲1.4
	4月	1.2	2.4	1.9	5.6	▲0.7	1.8	0.9	0.7	0.0	▲1.6	1.3
	5月	0.7	3.7	▲1.7	▲1.3	0.6	1.0	▲0.3	0.0	0.1	1.7	1.0
	6月	▲0.8	1.9	▲1.2	▲0.8	0.0	▲0.4	▲0.6	▲0.1	▲0.2	▲0.7	▲0.8
	7月	0.1	2.0	0.5	▲0.6	▲0.2	▲0.1	0.4	0.3	0.3	0.3	0.9
	8月	0.4	1.4	3.1	0.7	0.7	0.3	▲2.0	0.1	0.4	▲0.2	▲0.2
	9月	▲1.2	1.1	▲2.7	▲2.5	0.1	▲2.4	▲1.4	0.6	0.6	0.8	▲0.2
	10月	1.7	1.9	2.6	4.7	▲0.6	2.5	3.9	▲0.4	▲0.5	0.3	0.0
	11月	▲0.1	1.3	0.6	0.4	0.6	0.4	▲2.6	▲0.3	▲1.6	▲0.2	0.3
	12月	▲0.2	1.3	0.6	▲1.1	0.0	▲0.3	▲0.2	0.3	2.4	0.9	▲0.2
07	1月	0.4	1.1	▲3.0	1.2	▲1.1	▲0.3	0.7	0.8	1.7	▲1.1	2.4
	2月	1.0	1.7	1.4	0.0	1.0	2.4	3.7	▲0.8	▲0.6	2.2	▲0.3
	3月	▲2.2	0.7	1.3	▲7.3	▲1.5	▲3.0	▲1.1	▲0.9	▲0.4	▲1.5	▲1.5

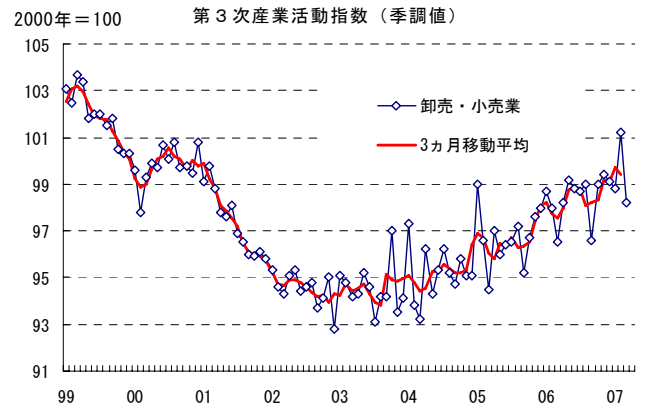
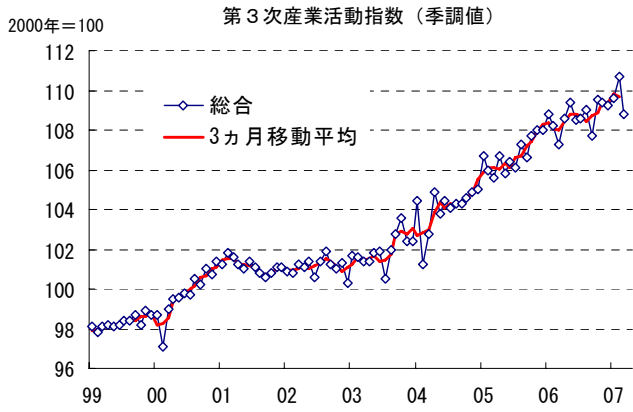
(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

## ○ 3月の第3次産業活動指数は前月比▲2.2%と3ヶ月ぶりに低下

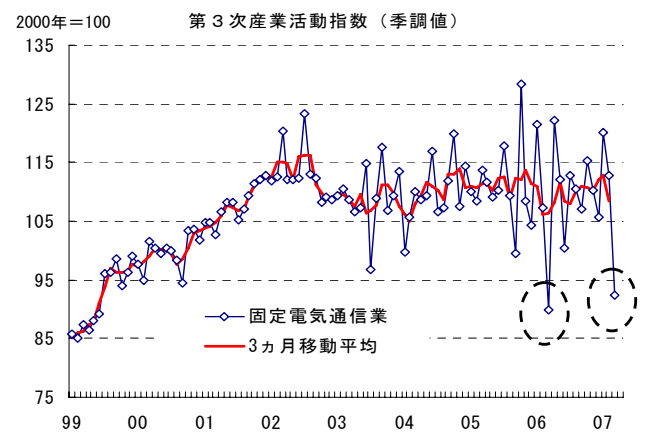
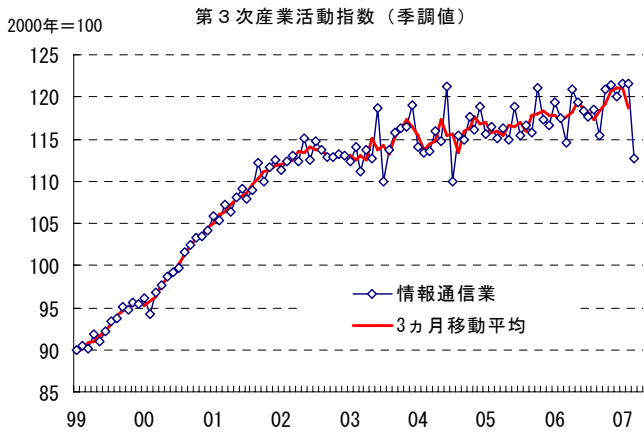
3月の第3次産業活動指数は前月比▲2.2%と3ヶ月ぶりに低下した。市場予想(前月比▲0.7%、レンジ同▲1.6%～+0.3%)の下限を下回っており、ヘッドラインは弱めの印象である。

第3次産業活動指数を構成する主要11業種で見れば、上昇が2業種、低下が9業種となった。上昇に寄与した業種は、電気・ガス・熱供給・水道業(前月比寄与度+0.06%)、学習支援業(同+0.03%)であり、低下に寄与したのが情報通信業(前月比寄与度▲0.73%)、卸・小売業(同▲0.70%ポイント)等である。卸・小売業については、3月は気温の変動が大きく春物衣料等の売れ行きが伸び悩んだことから低下した。また、大幅なマイナスとなった情報通信業だが、最も押し下げに寄与したのは固定電気通信業である。ただし、この分野についてはテクニカルな要因による押し下げがあった模様だ。毎年3月は決算時期でもあり調査データの回収が良くないことが多いが、今回はデータを得ることができなかった。その場合、昨年3月の伸び率を用いて推計することになっているが、昨年の3月は大幅なマイナスであったため、07年3月分も大きく減少したということである。情報サービス分野で金融業や製造業向けのソフトウェア受注、ゲームソフト等のソフトウェアプロダクトが振るわなかったことも押し下げに寄与したものの、固定電話通信業については今後修正される可能性があることから情報通信業の低下については割り引いてみる必要がある。さらには四半期決算を導入する企業の増加から季節調整がうまくかかりにくくなっていることも考えられ、3月は全体的に低めに出ている可能性も指摘できる。

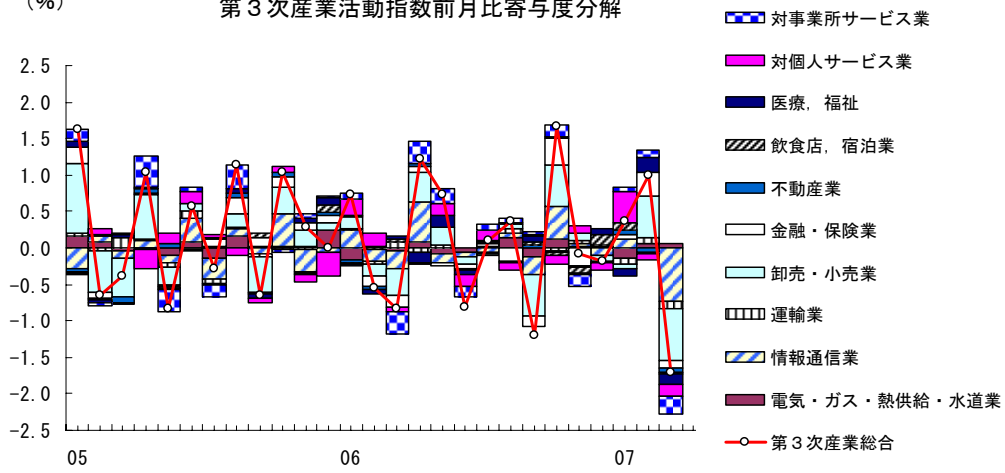
3月の第3次産業活動指数は総じて低調であったが、1-3月期で見れば前期比+0.1%とわずかながらも上昇した。3月の落ち込みを割り引いて考えれば緩やかながらも上昇基調が続いていると判断でき、昨日公表された1-3月期GDPの個人消費は前期比+0.9%と好調だったこととも概ね整合的である。1-3月期は鉱工業生産がマイナスとなるなど製造業では減速となったが、非製造業については底堅く推移していると考えられる。



（出所）経済産業省「第3次産業活動指数」



（％） 第3次産業活動指数前月比寄与度分解



（出所）経済産業省

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。